

TOPPANホールディングス株式会社様

データドリブン経営を実現する

本社・工場横断データ統合基盤の構築

概要

TOPPANホールディングス株式会社様は、デジタルトランスフォーメーション (DX) の一環として、本社と各事業所や工場に分散されたデータをアマゾンウェブサービス (AWS) 上に集約・可視化することによりデータ利活用の促進を実現されました。

お客様のご紹介 TOPPANホールディングス株式会社様

TOPPANホールディングス株式会社様は、印刷テクノロジーをベースに「情報コミュニケーション」「生活・産業」「エレクトロニクス」の3事業を展開する総合ソリューション企業です。「Digital & Sustainable Transformation」を基本方針として掲げ、「DX」と「SX」によってワールドワイドで社会課題を解決するリーディングカンパニーを目指されています。

お客様の課題

受注や生産情報データが事業所や工場など地区単位で管理されており、全体状況が把握しづらい状況でした。そのため、どの製品をどの工場で生産するべきかを検討する生産計画業務が煩雑化していました。また、製品別の製造原価管理も煩雑な作業が必要で、ビジネス環境変化に応じた、より迅速な意思決定が求められていました。

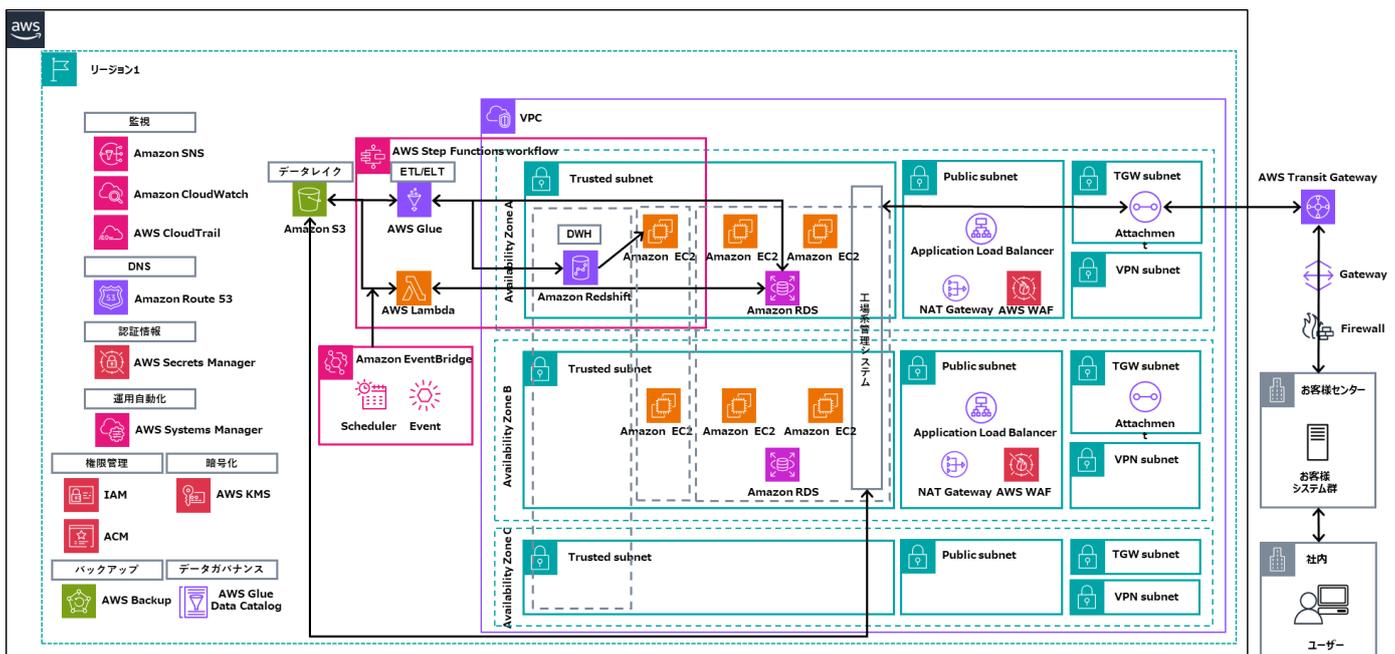
さらに、本社と各事業所や工場を横断したデータ集約・可視化が求められておりましたが、システムが乱立・複雑化していたことから、管理工数やコストの最適化が今後の重要な検討テーマとなっていました。

ソリューションの概要

富士通は生産管理システムをAWS上に構築し、運用サポートを実施しております。

(環境構築・移行期間：2023年12月～2026年3月予定)

本システムでは、本社と各事業所や工場の各種データ（受注・在庫・製造実績等）をAWS Glue、AWS Lambdaで加工し、Amazon RDS for Oracleに格納。データ分析の基盤としてAmazon Redshiftを採用しています。



効果

1. データドリブン経営の加速

AWS上に生産関連データを一元化し、クラウドネイティブなデータパイプラインを構築することで、ETL処理や高度なアナリティクス、ダッシュボードによるビジュアライゼーションを実現しました。これにより、AIや機械学習を活用した最適な生産拠点の選定や、原価低減に向けたデータドリブンな意思決定が可能となり、DX推進を加速しました。

さらに、外部データや異種データソースを統合することで、より戦略的なサプライチェーン全体の最適化を推進できる環境が整いました。

2. コスト最適化とリードタイムの短縮

AWS上に構築することで、従来のオンプレミス環境での構築に比べ、ハードウェア導入や維持管理にかかるコストを削減、リードタイムについては約7割程度削減できました。また、開発環境や検証環境のシステムについても、必要な時だけオンデマンドで利用することで費用を抑えることができ、インフラコストの最適化を図ることができました。

3. 柔軟なリソース変更と拡張性の向上

従来のオンプレミス環境では新規システムを構築する際、サーバのリソースサイジングを緻密に行ったうえでサーバの調達や導入を実施する必要がありました。AWSでは、机上検討や実機検証を行いながら動的にサイジングができるため、最適なリソースを選択することができました。さらに、今後変化するビジネス環境下でのAI活用やデータ利活用基盤の拡張に、柔軟に対応することが可能となります。

AWS選定理由

本システムでは次の観点でAWSを採用しました。

- ・グローバル規模での安定したシステム提供実績
- ・技術者の数が多いためサポート面に優位性があること
- ・高い拡張性とサービス選択の柔軟性により、将来的なシステム拡張や機能追加にもスムーズに対応できること

富士通選定理由

既存システムの初期構築時に参画したプロジェクトメンバーによる初期対応と、製造業や原価計算に関する知見を持つSEの参加により、短納期でのリリースが求められるプロジェクトを確実に推進できる点をご評価いただきました。

(本事例は2026年2月時点の情報となります)

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先

製品・サービスについてのお問い合わせは[コチラ](#)

富士通株式会社 〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

